

便利機能盛りだくさん /  
使ってますか?  
お太助フォン

市長の動向

市内のイベント

災害情報

介護予防動画

無料電話  
※お太助フォン  
同士の場合



「お太助フォン」に意外と便利な機能があるのはご存知ですか? 災害時の避難情報や健康体操、市長の動向まで見ることができます。せっかくあるのにもったいない! ぜひ活用してみてください。

各ボタンの機能



お知らせ

日々の市長の動向や市内のイベント情報、市からの行政情報を確認できます。



写真

デジタルカメラなどで撮影した写真をお太助フォンの中に入れて、見たりできます。



告知放送

朝昼晩の定時放送の内容を確認できます。 ※「放送再生」ボタンを押すと音声再生されます。



おくやみ案内

市内のおくやみ情報を確認できます。



電話

お太助フォン同士なら無料で通話できます。



あぐりインフォ

JA広島北部からの農業に関する情報を確認できます(水稲栽培に関する事、各種研修会のお知らせ)。



動画視聴

「財政説明会(令和3年7月)」、「ラジオ体操第一」、「パンダのたからもの体操」を動画で見ることができます。



市役所ホームページ

安芸高田市ホームページを閲覧できます。災害時には災害情報を確認できます。

お太助フォンの操作や困り事は

CBBS株式会社 ☎050-5535-5500・お太助フォン 99-5500(平日9時30分~18時)

企画調整係 ☎お太助フォン 42-5612



三矢の訓跡碑  
(安芸高田多文化共生センターきり内)

三矢の訓跡碑裏面の「大江中学校」の文字

安芸高田  
歴史紀行



歴史民俗博物館 副館長  
秋本 哲治

毛利元就入城500年記念

大江広元と安芸毛利氏 | その1  
なぜ「毛利」が「大江」?

大江ふれあい会館(吉田町多治比)



本市に残る「大江」の名残



大江橋(吉田町吉田)

現在放映中の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」。その中で登場する冷静沈着なあの人物は、安芸高田と深いつながりがあります。これを読むとドラマをもっと楽しめます!

今でも残る「大江」  
吉田町内に「大江橋」という名の橋が2か所あります。また、郡山山麓には昔中学校があり、その名称は「大江中学校」でした。地名でもないのに、なぜ「大江」なのでしょう? それは、現在大河ドラマに登場している、鎌倉幕府の重臣「大江広元」と安芸毛利氏が深く関係しているためです。

広元の略歴  
大江広元は1148年、京都で生まれました。父は名門貴族の大江維光といわれていますが、詳細は不明です。後に、貴族の中原広季の養子となり、中原広元と名乗ります。朝廷で官僚として出世した広元ですが、東国で台頭した源頼朝に招かれて鎌倉に移り、1184年、公文所(のち政所)

別当として鎌倉政権の政務を担います。広元は頼朝死後も政権の中核として活躍し、1216年には大江姓に改姓しました。その後、1225年、広元は78歳の生涯を閉じます。

「大江」から「毛利」へ  
広元は、安芸国吉田荘(現吉田・甲田・向原町の一部)を与えられていたが、相模国(現在の神奈川県)の「毛利荘」(現在の厚木市辺り)にも所領がありました。それを四男、季光が相続し現地を本拠とした際、地名から「毛利」を名乗ったのが毛利氏の発祥です。とはいえ、格式のある「大江」姓を捨てたわけではなく、あくまで普段の呼称として「毛利」を使っています。なお、現在でも厚木市内には、毛利台という地名があります。毛利荘を本拠とした季光でしたが、1247年、宝治合戦で三浦氏に加勢し、敗れて自害します。その後の毛利氏がどうなったか? 次回に乞うご期待!